

▼商品の取り扱いについて

ライオン事務器では、商品の取り扱いに際して注意事項を下記のマークとともに表示しています。商品によっては、誤った使用をされますと思わぬ事故につながる恐れもあります。商品のご使用に際しては、取扱説明書を必ずお読みいただき、間違いのないご使用をお願いいたします。また取扱説明書は重要な書類です。大切に保管してください。

一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)が定める製品本体に表示するマーク

商品が倒れてくることへの警告



引出しは1段ずつ引き出してください。複数の引出しを同時に引き出すと、倒れてきてケガをすることがあります。

指や手を挟むことへの警告



開閉部に手をつけたまま操作しないでください。手を挟んでケガをすることがあります。

体に衝突することへの警告



移動方向に人がいないことを確認してから動かしてください。人に当たってケガをさせることがあります。

分解禁止



分解禁止。分解・組立・移動は専門業者におまかせください。転倒などの事故になることがあります。

注意事項の表示例

警告



- 1 上段にだけ収納しないでください。引き出した時に倒れてきてケガをすることがあります。
- 2 引出しは手前側にだけ収納しないでください。引き出した時に倒れてきてケガをすることがあります。
- 3 引出しは1段ずつ引き出してください。複数の引出しを同時に引き出すと、倒れてきてケガをすることがあります。

事務用品に関しては一般社団法人日本文具協会の「文具を安全に使用するための表示のガイドライン」に準拠して、表示しています。

壁面収納家具のご使用にあたって

1. 壁面収納家具は、必ず転倒防止対策をした状態でご使用ください。転倒防止対策のない設置は、転倒によるケガの原因となります。(壁面収納家具という製品が持つ特性をご理解していただき、安全にご使用していただくため)
2. 壁面収納家具の施工後に移設したい場合は、必ず設置施工のメーカー(とその販売店)にご相談ください。設置施工のメーカー(とその販売店)またはその指定業者以外の者が、移設施工した場合は、その移設施工に起因する事故には一切の責任を負うことができません。
3. 壁面収納家具は大型で施工を伴う家具ですから、一般の置き家具とは構造・体積等大きく異なります。十分に「取扱説明書」の安全条項を確認厳守のほどお願い申し上げます。

お買い上げいただいた商品について

●商品全般

- ・製品のご使用前に、必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・製品の分解や改造はしないでください。ケガや破損の原因となります。
- ・各接合部のボルトやネジにゆるみが生じた場合は、早めに増し締めを行ってください。変形や破損を引き起こし、ケガをする原因となります。
- ・可動部や開閉部のすき間に手や指を入れしないでください。
- ・異常を発見された際は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室まで製品名、異常内容などをご連絡ください。そのまま使用すると商品の破損により、ケガをするおそれがあります。
- ・廃棄する際は専門業者におまかせください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- ・本カタログや取扱説明書に記載されている、最大積載質量・耐荷重は均等にものを置いた場合の基準値です。基準値内でご使用ください。
- ・天板の上に腰掛けたり、立ち上がり、踏み台がわりに使用しないでください。転倒してケガをしたり、故障の原因となります。
- ・配線部や配線ダクトに水やほこりが入らないようにご注意ください。感電や漏電、機器不良の原因となることがあります。
- ・直射日光のあたる場所や暖房器具・火気の近くで使用しないでください。変色や変形、やけどや火災の原因となります。
- ・使用していないボルト穴や取付穴に指を入れしないでください。ケガをしたり、破損することがあります。

●デスク・テーブル

- ・刃物などの鋭利なものを天板上で直接使用しないでください。キズや破損の原因となります。
- ・お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに完全に拭き取ってください。変色や変形、サビや故障の原因となります。
- ・必ず本体を水平に保つようにして設置してください。水平でない場合、本体のゆがみや可動部不良の原因となります。
- ・部分的に偏って載せるとバランスが崩れ、落下や転倒することがあります。
- ・折りたたみ式テーブルなどで、天板を開閉する際は、まわりに人や物がないことを確認して行ってください。破損したり、ケガをすることがあります。
- ・折りたたみ式テーブルなどは、天板が水平に固定されていることを確認してからご使用ください。確実に固定されていないと天板が急に折りたたまれてケガをすることがあります。
- ・折りたたみ式テーブルなどで、スタッキング収納の際、テーブル間に手や足が挟まれないようご注意ください。手や足が挟まれてケガをすることがあります。
- ・台車や運搬用具として使うなど、製品の用途以外で使用しないでください。ケガをしたり、破損することがあります。
- ・キャスタータイプをご使用の際は、キャスターのストッパーをロックした状態でご使用ください。

●チェア

- ・キャスターやガスシリンダーなどの消耗部品には寿命があります。使用中に異常音などの消耗現象が発生した場合は、部品の交換が必要です。
- ・チェアの座面に立ちあがって踏み台がわりに使用したり、背もたれ・肘掛等に腰掛けしないでください。転倒や転落により、ケガをしたり、破損することがあります。

- ・キャスター付のチェアをご使用の際は、カーペットのようなやわらかい床にはナイロンキャスターが通っており、木質のフローリングのような硬い床には、床を傷つけにくいポリウレタン巻キャスターが、Pタイル・フローリング床などの硬くてすべりやすい床には、ゴム単輪キャスターが通っています。キャスターが転がりますと、転倒してケガをしたり破損するおそれがありますので、適切なキャスターをお選びください。また、いずれのキャスターもクッションフロア上では使用しないでください。床を傷つける場合があります。
- ・移動は単独で行ってください。複数のスタッキングした状態で無理に移動させると、ケガをしたり破損することがあります。
- ・スタッキングチェアを積み重ねる際は、規定のスタック脚数を厳守し、安定した状態で積み重ねてください。不安定な状態で積み重ねると、くずれてきてケガをしたり破損することがあります。
- ・本革、フェザーを使用しているものについては、匂いが発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・本革は天然素材のため、動物の個体差があり生体時のキズが見られたり、製品それぞれの質感(色、伸び、しわ等)にムラ・バラつきが生じる場合があります。これは人工皮革にはない風合いともいえるもので品質には問題ございませんのでご了承ください。使用している間に皮革がひびいて、購入時にはないシワができることがあります。直射日光に長くあてたり、極度の乾燥状態に置くと色あせやヒビ割れを生じますのでご注意ください。
- ・背、座面が傾いて元に戻らない場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・脚部、背の取り付け部、座面の取り付け部のガタつきが大きくなってきた場合やフレや外れがある場合は、直ちに使用を中止してください。

●折りたたみイス

- ・折りたたみイスは一時的なご使用のために作られています。日常的に使用される場合は、固定チェア、回転チェアをご使用ください。
- ・不安定な場所に積み上げないでください。また、不安定になるほど高く積み上げないでください。
- ・専用台車および収納台車は規定の収納脚数を守ってください。
- ・座面が傾いている、座面と脚の連結部が変形、または折れている場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・完全に開いた状態でご使用ください。開ききらない状態での使用は、ケガや破損の原因となります。
- ・折りたたみ機構部や、可動部のすき間に手や指を入れしないでください。挟んでケガをすることがあります。

●ローパーティション

- ・パネルの上に乗ったり、踏み台がわりに使用しないでください。転倒してケガや破損の原因となります。
- ・パネルによりかかったり、強い衝撃をあてないでください。転倒してケガや破損の原因となります。
- ・パネルに物をたてかけないでください。転倒してケガや破損の原因となります。
- ・レイアウト及びレイアウト変更の際は、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室までご相談ください。レイアウトにより、必要な安定脚の数や取付け位置が異なるため、安定脚不足や取付け位置の違いにより、転倒してケガや破損の原因となることがあります。

●収納（デスク引出し・ワゴン・壁面収納家具）

- ・壁面収納家具は、P54「壁面収納家具のご使用にあたって」もご参照ください。
- ・工具などによる破壊には耐えられません。カギ付の引出しや扉でも、貴重品の保管には使用しないでください。
- ・施錠されている状態で無理に引出しや扉を開けようとししないでください。
- ・通常使用するカギと予備のカギは必ず別の場所に保管してください。
- ・施錠の際は引出しや扉が完全に閉まっていることを確認の上で施錠してください。
- ・引出しや扉のカギは奥まで差し込んだ状態で、施錠・解錠を行ってください。
- ・複数の引出しを同時に引き出すことはしないでください。
- ・複数段収納できる家具には、バランスよく収納してください。（重いものは下に、また、各段収納物の片寄りがないように収納してください）
- ・引出しを引き出した状態で上から強く押さえたり、ものを置く台として使用しないでください。

●耐火金庫

- ・床の耐荷重を超えた設置はしないでください。
- ・耐火金庫の有効耐用年数は製造後20年です。20年を経過しましたら、本来の耐火性能を発揮できなくなりますので、新品と交換されることをお勧めします。
- ・耐火金庫は耐火性・防湿性・防盜性等の性能区分がありますので、保管目的に適合した耐火金庫を選んでご使用ください。
- ・耐火金庫には収納に適したもの、適さないものがあります。事前にご確認の上ご使用ください。
- ・暗証番号やキーの保管場所は他人に知られないよう、十分にご注意ください。

●ファイル類

- ・ファイルの収容枚数は、64g/m²のPPC用紙を使用した場合の目安です。
- ・PPシート製のホルダーやレポートカバーなどには、コピー用紙や印刷物をよく乾燥させてから挿入してください。印刷物によっては化学変化により、シートに波打ちや反りが発生する場合があります。

●カードケース・ファスナーケース

- ・温度・湿度によりサイズが若干収縮する場合がありますので、自動車内など高温になる場所に長時間放置しないでください。

▶ お手入れ方法

●金属・樹脂部

- ・やわらかく、乾いた汚れていない布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、やわらかく、乾いた汚れていない布で水分が残らないように拭き取ってください。
※水で濡れたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤などを使うと、サビや変色、塗装のはがれが発生する場合があります。
- ・定期的にボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は、締め直してください。ゆるんだままで使用すると、ぐらついたり本体が破損してケガをすることがあります。

●布部

- ・ほこりなどの汚れは、手ではたくか、やわらかいブラシなどで軽くブラッシングし、電気掃除機で吸い取ってください。
- ・シミなど汚れがひどい場合は、市販の専用シミ抜きをご使用ください。
※市販の専用シミ抜きをご使用の際は、その使用説明をご理解の上、目立たない場所で変色など異常がないことを確認してからご使用ください。

●パンチ・断裁機

- ・PP、塩化ビニール、樹脂コーティングされた紙および紙以外のものに使用しないでください。また、厚紙・紙質によっては穿孔できない場合があります。
- ・穿孔能力および断裁能力は、64g/m²のPPC用紙を使用した場合の目安を表示しています。再生紙の場合は若干少なめになりますのでご注意ください。
- ・目安となる使用回数になりましたら、断裁刃・錐・受木・受板などのメンテナンス、交換などが必要となります。（交換不可機種を除く）

●デスクマット

- ・一部反応しにくい光学式マウスもありますのでご注意ください。
- ・材質の特性上、温度・湿度によりサイズが若干収縮する場合があります。
- ・コピー用紙やインク、写真が転写しにくい加工を施していますが、コピーやプリンタの種類により、まれに転写する可能性がありますのでご注意ください。
※一部加工を施していない商品があります。
- ・高温、直射日光の当たる場所に、長時間放置しないでください。
- ・熱い飲料のあったコップなどは置かないでください。跡が付いたり、反ったりする場合があります。

●マグネット用品

- ・FDやCD・MO・磁気カード・電子機器など、磁気の影響を受けるものに近づけないでください。データを損なうおそれがあります。
- ・保持枚数は、64g/m²のPPC用紙を使用した場合の目安を表示しています。再生紙の場合は若干少なめになりますのでご注意ください。

●ナンバリング

- ・ライオン専用インキをご使用ください。専用インキ以外をご使用した場合、故障の原因となるおそれがあります。

●紙折機について

- ・チラシ等の紙質によっては折れない場合があります。
- ・使用地域により50Hz/60Hzをご指定ください。（LF-811N、LF-80N）

●シュレッドギア

- ・本カタログや取扱説明書に記載の細断可能物以外のものは、投入しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

●ビニールレザー部

- ・やわらかく、乾いた汚れていない布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、やわらかく、乾いた汚れていない布で水分が残らないように拭き取ってください。
※水で濡れたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤などを使うと、変色やヒビ割れが発生する場合があります。

●本革部

- ・やわらかく、乾いた汚れていない布でカラ拭きし、定期的に市販の保革クリームを塗ってください。
※市販の保革クリームをご使用の際は、その使用説明をご理解の上、目立たない場所で変色など異常がないことを確認してからご使用ください。
※水拭きはできるだけ避けてください。

●木製家具

- ・やわらかく、乾いた汚れていない布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、やわらかく、乾いた汚れていない布で水分が残らないように拭き取ってください。
※水で濡れたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤などを使うと、変色や塗装のはがれが発生する場合があります。